

2026(令和8)年度
札幌大学転入学・編入学試験(11月)

経営学専攻

小論文試験

【小論文テーマ】

以下の問題から一つ選択し、800字程度で解答せよ。

1. 「あなたがこれから経営学を学ぶ上で、社会人経験(または他分野での学び)をどう活かしたいか。」
2. 「SNSは企業活動にどのような影響を与えるか」
3. 「あなたが理想とする『良い経営者』とはどのような人物か」

【出題意図】

1. 編入生としての多様な背景を前向きに捉え、自身の学びの目的意識を整理させる。
2. SNSが企業にもたらすメリットとリスクの両面を理解し、企業がどのように対応すべきかを考察する力を問う。
3. 経営学を学ぶ出発点として、リーダーシップ・倫理・社会的責任を自らの価値観で考えさせる。

【解答例】

1. 私はこれまで、社会人として販売や接客の仕事を経験してきた。その経験を通じて、「良い商品があっても、経営がうまくいかなければ続かない」という現実を痛感した。だからこそ、経営学を学び、現場で感じた疑問を理論として理解したいと考えている。仕事の現場では、売上や効率を求められる一方で、従業員のモチベーションが下がることも多かった。どうすれば人を活かしながら成果を出せるのか。それを体系的に考えられるのが経営学の魅力だと思う。また、他分野の学びも強みになる。私は以前、デザインを学んでおり、「見せ方」や「体験設計」の重要性を感じてきた。これを経営学のマーケティングやブランド論と結びつければ、新しい発想を生み出せると考える。編入生は、多様な経験を持つことが最大の武器である。私はその経験を活かし、理論だけでなく実践的な視点から学びを深めたい。そして、将来は「現場と経営をつなぐ人材」として、組織の中で橋渡しができる存在を目指したい。
2. SNSの普及は、企業活動のあり方を根本から変えた。従来は企業が広告媒体を通

して一方的に情報を発信していたが、SNS の登場により、消費者が自由に意見を発信・共有できる双方向型のコミュニケーションが可能になった。これにより、企業の発言や行動は瞬時に社会へ拡散し、ブランドイメージがリアルタイムで形成されるようになった。SNS が企業に与える最大のメリットは、顧客との距離を縮められる点である。たとえば、無印良品やスターバックスは SNS で新商品の情報や企業理念を発信し、消費者の共感を得ることでブランド価値を高めている。また、ユーザーの意見を直接取り入れることで、製品開発やサービス改善に生かすこともできる。SNS は「顧客の声を聴く経営」を実現する重要なツールとなっている。一方で、SNS には大きなリスクも存在する。社員や顧客の不適切な投稿が企業の評判を一瞬で損なうことがある。炎上や誤情報の拡散は、企業の信頼を失う重大な危機に発展しかねない。したがって、企業は SNS ガイドラインを整備し、従業員の教育や危機対応マニュアルを整えることが不可欠である。今後の企業経営において求められるのは、SNS を単なる宣伝手段としてではなく、社会との信頼関係を築くプラットフォームとして捉える視点である。透明性のある情報発信、迅速な対応、誠実な姿勢が、企業の持続的成長を支える鍵となるだろう。SNS 時代における企業活動は、「発信の巧みさ」よりも「信頼の積み重ね」が問われていると考える。

3. 私が理想とする経営者は、「利益と人の成長を両立させるリーダー」である。経営者は企業の舵取りを担う存在であり、単に利益を上げるだけでなく、従業員や社会に良い影響を与える責任を持つ。第一に、良い経営者は「人を育てる力」を持つ。短期的な成果よりも、社員の能力開発や働きがいを重視する姿勢が大切だ。トヨタのように現場の声を尊重し、改善を積み重ねる企業文化はその好例である。第二に、「倫理的判断」ができること。近年、企業不祥事が相次ぐ中、経営者には透明性と誠実さが求められている。社会的信頼は、どんな利益よりも大切な資産である。第三に、変化に挑む柔軟性を持つこと。デジタル化や国際競争が進む時代、過去の成功体験に固執せず、新しい価値を創り出す姿勢が必要だ。私は経営学を通じて、数字や理論だけでなく、「人を中心とした経営」の重要性を学びたい。良い経営者とは、組織の利益と人の幸福を同時に実現する存在であると考えている。